

3大ヴァイオリン協奏曲と 珠玉の小品集

@K.Mura

ベートーヴェン：ロマンス第2番

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲

ラヴェル：ツィガース

マスネ：タイスの瞑想曲

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲

サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン

チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲

出演：周防亮介(ヴァイオリン)

渡邊一正(指揮)

新日本フィルハーモニー交響楽団(管弦楽)

6.3 | 17:00開演(16:15開場・終演予定20:20)
2023 SAT | 東京文化会館 大ホール
S 7,700円/A 6,600円/B 5,500円/C 4,400円(税込)

チケット発売 | 2023年2月25日(土)

◇東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (10:00~18:00 休館日を除く)
<http://www.t-bunka.jp>

◇チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/violin-concerto/> (Pコード236-958)
セブン-イレブンにて取り扱い

◇ローソンチケット <https://l-tike.com/violin-concerto/> (Lコード34785)
店頭販売 ローソン、ミニストップ店内Loppiにて取り扱い

◇イープラス <https://eplus.jp/violin-concerto/>
ファミリーマート店舗にて取り扱い

【お問い合わせ】 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(平日12:00~15:00)

周防亮介
(ヴァイオリン)

@JUNICHIRO MATSUO



渡邊一正(指揮)

@Etsuke Miyoshi

世界中で人気のヴァイオリン協奏曲といえば
「ブラームス」「メンデルスゾーン」そして「チャイコフスキー」の3曲。
今宵、周防亮介が一気にこの3大協奏曲を弾ききります。
そして3曲の協奏曲の前には
誰もが知る珠玉の小品が並ぶ特別なプログラム
ヴァイオリンと管弦楽で織りなす人気曲を一気にお聴きください!

周防亮介 Ryosuke Suho (Violin)

2016年ヴェニヤフスキ国際コンクール入賞及び審査員特別賞受賞をはじめ、日本音楽コンクールやオISTRAフ国際コンクールなど、国内外の数々のコンクールで優勝や入賞の実績を持つ。2015年「第25回出光音楽賞」、2016年「第25回青山音楽新人賞」を受賞。12歳で京都市交響楽団との共演を皮切りに、パリ管弦楽団やシュトゥットガルト室内管弦楽団、NHK交響楽団など、数多くの国内外オーケストラと共演。15歳で初リサイタルをおこない、清水和音や上田晴子など第一線で活躍するピアニストと共演を重ねる。2023年にはサントリーホール大ホールにて、「無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」を開催し各方面より絶賛される。

2017年には、オクタヴィア・レコードよりファーストアルバム『Souvenir』をリリース。2021年に『チャイコフスキー & メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲』、2022年に無伴奏曲集『ブラヴィッシモ』、2023年1月に『パガニーニ：24のカプリース』をリリースした(オクタヴィア)。東京音楽大学アーティスト・ディプロマコースを修了し、現在は江副記念リクルート財団奨学生としてメニューイン国際音楽アカデミーにて研鑽を積む。使用楽器はNPO法人イエローエンジェルより貸与されている、1678年製ニコロ・アマティ。



© JUNICHIRO MATSUO



© Eisuke Miyoshi

渡邊一正

Kazumasa Watanabe
(Conductor)

1991年東京フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2015年4月から東京フィルのレジデント・コンダクターおよび指揮者を2021年5月まで務める。また1995年～2002年には広島交響楽団正指揮者も歴任。これまでN響の定期演奏会を始め、日本国内の主要プロ・オーケストラへ定期的に客演しその音楽性と指揮に対する信任を得ている。オペラでは新国立劇場でマスカーニ歌劇「友人フリッツ」、バレエでも同劇場バレエ団「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「ドン・キホーテ」などを指揮し、2006年「白鳥の湖」新演出の指揮でも大成功を収めた。またサンクトペテルブルグ交響楽団の定期演奏会に客演するなど、海外でも活躍している。ピアニストとしても8歳の時に東京響、東京フィルと協演。87年～89年まで渡欧しハンス・ライグラフ教授に師事。その後、東京フィル定期、広島響定期などで弾き振りを含むプログラムを行なうなど、ピアニストとしての才能も高く評価されている。



© K.Miura

新日本フィルハーモニー交響楽団

New Japan Philharmonic

1972年、指揮者・小澤征爾、山本直純のもと自主運営のオーケストラとして創立。97年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会のほか、地域に根ざした演奏活動も特徴的。99年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任。受賞歴に三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ペンクラブ音楽賞など。佐渡裕が23年より第5代音楽監督として決定、それに先立ち、22年よりミュージック・アドバイザーに就任。創立50周年となる22/23シーズンは、様々な記念演奏会を開催、定期演奏会には縁の深い指揮者達が名を連ねる。